

れんごう中越地協

第936号2017.7.21
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含まれる



柿川に親しむ会が実行委員会開く

第21回柿川清掃と歴史探訪の集い

フォーラム午後に、長岡藩主牧野家資料館見学と探訪コース

柿川に親しむ会(南代表・プラン21)は、7月7日(金)午後6時半からながおか市民センターで、第1回実行委員会を開催した。

柿川に親しむ会は、97年から清掃活動等を継続しており、今年



21回目を迎える。この日は、プラン21、連合中越地協(国民市民担当)とS Jネット委員会から6人が出席し、都合が悪く欠席したNPO法人地域循環ネットワーク等へは、決定内容を伝えることとなった。

先ず、南代表の挨拶に続き、佐々木さんが司会を務め、今年は「2017にいがたワーク&ライブフォーラム in 長岡」(以下フォーラム)のセッションの一体として、実行委員会を設置して行う事を確認した。

続いて、昨年の実施状況、決算状況が報告され、概略を以下のように入力確認した。

実施日は、9月2日(土)午後とし、フォーラム参加者は、午後1時30分からさいわいプラザ内の長岡藩主牧野家資料館見学と牧野館長の講演(依頼中)、その後は、南町公園に集合して一般参加者とともに、郷土史研究会の皆さんから探訪コース毎に説明を受ける「第21回柿川周辺清掃と歴史探訪の集い」とする内容だ。

各探訪コースの最終簡所は、長岡戦災資料館前としており、展示している長岡空襲の資料等を見学してほしいとした。第2回実行委員会

員会は、8月22日に行い最終確認を協議するとした。

また、平成30年長岡城開府400年に向けた動きについては、現段階で方向性が示さず、柿川に親しむ会として20周年事業との兼ね合いを含め、「参加できるものに可能な限り参加すること」を再確認し、今後持ち越した。

最低賃金引き上げへの要請

久住見附市長 磯田長岡市長を訪ね要請

連合新潟と中越地域協議会は、「新潟県最低賃金引き上げに関する自治体要請」として、久住見附市長(7月4日)と磯田長岡市長(7月10日)に要請を行った。

平成29年度地域別最低賃金改定の目安は、6月27日に厚生労働大臣から中央最低賃金審議会に調査審議が諮問され、中央最低賃金審議会は、7月下旬に示す。新潟県最低賃金審議会では、これに向けて公益委員・労働者側委員・使用者側委員で検討が重ねられることとなる。

今回の要請は、安心して働き暮らせる新潟県の最低賃金(現行753円)となるよう、新潟県最低賃金審議会へ引上げの必要を求め要請をしたものだ。

7月4日は、矢島議長、諸橋連合新潟副事務局長、小林事務局長、荻原見附地区支部長、事務局長と佐々木市議が、久住見附市長へ要請を行った。

また、7月10日には、横澤副議長と諸橋

オーストラリアのシンドニーに世界で初めて「すべて無料」のスーパーがオープンした。賞味期限切れ前でも処分されてしまうような食品を、大手スーパーなどから譲り受けて提供している▼店内には果物や野菜、パンやコンフレックなどが並ぶが、値札はなく、レジもない。客は買い物かご一つまで品物を手にできる。客には代わりに寄付をお願いして、集まった寄付で団体の食事提供事業にあてる。まだ食べられるのに廃棄される「食品ロス」問題に対する意識を高めてもらい、生活に困っている人々の支援も狙いとのこと▼世界では毎年、生産

東蔵王2
《No.252》

副議長
與口篤也

量のおよそ3分の1に当たる13億トンもの食品が捨てられ、日本でも632万トンの食品を廃棄処分されている。これは世界の食料援助量320万トンのほぼ2倍。内訳は飲食店やスーパーからの廃棄が330万トン、約半数の302万トンは家庭から出る食材だといふ▼安売りをいいことに食べきれないほど買い占める。賞味期限の新しい商品を棚の奥から取り出す。そういった行為は食品ロスにつながるもの、心がけひとつで止められることができる。「自分さえよければ」という考えを一人ひとりで改めていけばと思う。

サラリーマン川柳(長生きもしたくないよと ウォーキング)(ホットヨガ 熱中しすぎて 熱中症)(海の日も 山の日もなし 会社の日)(人言えぬ 苦勞してると 人に言い)

